

令和2年度

岩手県後期高齢者医療広域連合一般会計及び  
後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算審査意見書

岩手県後期高齢者医療広域連合監査委員

# 目 次

第1	審査の対象	1
第2	審査の期日	1
第3	審査の方法	1
第4	審査の結果	1
第5	審査の概要	2
1	総括	
(1)	決算の概要	2
ア	決算収支の状況	2
イ	歳入決算の状況	3
ウ	歳出決算の状況	3
エ	歳入歳出前年度比較	3
2	一般会計	
(1)	決算の概要	4
(2)	歳入	5
(3)	歳出	8
3	特別会計	
(1)	決算の概要	10
(2)	歳入	11
(3)	歳出	18
4	財産	
(1)	物品	24
(2)	基金	24
第6	審査意見	25

注 文中及び表中の比率は百分率で表示し、小数点以下第2位を四捨五入したが、端数調整の都合上、これによらないものがある。

# 令和2年度岩手県後期高齢者医療広域連合 歳入歳出決算及び基金の運用状況審査意見

## 第1 審査の対象

- 1 令和2年度岩手県後期高齢者医療広域連合一般会計歳入歳出決算
- 2 令和2年度岩手県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- 3 実質収支に関する調書
- 4 財産に関する調書

## 第2 審査の期日

令和3年7月28日(水)

## 第3 審査の方法

広域連合長から提出された令和2年度歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書について、それぞれが関係法令に準拠して調製されているか、決算の計数に誤りはないか、予算の執行は適正であるかなどに主眼を置くとともに、関係諸帳簿及び証書類等によって調査照合を行った。

また、必要に応じて説明を求めたほか、例月出納検査の結果も参考にするなど、通常必要とされる審査手続によって審査した。

## 第4 審査の結果

決算書類等は、法令の規定に準拠して調製されており、決算書類等に記載の金額は、会計伝票、諸帳簿及び証書類等と符合し、計数は正確であると認められた。また、予算執行状況についても、概ね、適切かつ効率的、効果的に処理されていると認められた。

## 第5 審査の概要

### 1 総括

#### (1) 決算の概要

##### ア 決算収支の状況

令和2年度の一般会計及び後期高齢者医療特別会計の決算額は、歳入総額 162,124,549,176円に対し、歳出総額 159,502,973,209円で、歳入歳出差引残額（形式収支額）は 2,621,575,967円、翌年度へ繰り越すべき財源が無かったことから、実質収支額も 2,621,575,967円となっている。

（単位：円、％）

区 分	歳入総額 A	歳出総額 B	歳入歳出差引残額 A - B = C	翌年度へ繰り越 すべき財源 D
一般会計	195,803,250	190,239,400	5,563,850	0
後期高齢者医療 特別会計	161,928,745,926	159,312,733,809	2,616,012,117	0
令和2年度合計 ①	162,124,549,176	159,502,973,209	2,621,575,967	0
令和元年度合計 ②	162,520,334,973	158,732,950,672	3,787,384,301	0
増減額 ① - ②	△ 395,785,797	770,022,537	△ 1,165,808,334	0
増減比 (① - ②)/②	△ 0.24	0.49	△ 30.78	-

区 分	令和2年度実質収支額 C - D = E	令和元年度実質収支額 F	令和2年度単年度収支額 E - F
一般会計	5,563,850	1,779,313	3,784,537
後期高齢者医療 特別会計	2,616,012,117	3,785,604,988	△ 1,169,592,871
合計	2,621,575,967	3,787,384,301	△ 1,165,808,334

## イ 歳入決算の状況

歳入決算額は、調定額162,146,055,634円に対し、収入済額 162,124,549,176円で、不納欠損額は 0円、収入未済額は 21,506,458円となっている。

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
一般会計	195,722,000	195,803,344	195,803,250	0	94
後期高齢者医療 特別会計	161,363,986,000	161,950,252,290	161,928,745,926	0	21,506,364
合 計	161,559,708,000	162,146,055,634	162,124,549,176	0	21,506,458

## ウ 歳出決算の状況

支出済額は 159,502,973,209円、不用額は 2,056,734,791円で、予算現額に対する執行率は98.7%となっている。

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
一般会計	195,722,000	190,239,400	0	5,482,600	97.2
後期高齢者医療 特別会計	161,363,986,000	159,312,733,809	0	2,051,252,191	98.7
合 計	161,559,708,000	159,502,973,209	0	2,056,734,791	98.7

## エ 歳入歳出前年度比較

(単位：円、%)

区 分		令和2年度	令和元年度	前年度比較	
				増減額	増減比
一般会計	歳入	195,803,250	194,945,629	857,621	0.44
	歳出	190,239,400	193,166,316	△ 2,926,916	△ 1.52
後期高齢者医療 特別会計	歳入	161,928,745,926	162,325,389,344	△ 396,643,418	△ 0.24
	歳出	159,312,733,809	158,539,784,356	772,949,453	0.49
合 計	歳入	162,124,549,176	162,520,334,973	△ 395,785,797	△ 0.24
	歳出	159,502,973,209	158,732,950,672	770,022,537	0.49

## 2 一般会計

### (1) 決算の概要

令和2年度の一般会計歳入歳出の決算額は、収入済額が195,803,250円、支出済額が190,239,400円で、歳入歳出差引残額は5,563,850円となっている。予算現額に対する歳入の執行率は100.0%、歳出の執行率は97.2%となっている。

(単位：円、%)

区 分	令和2年度	令和元年度	前年度比較		
			増減額	増減比	
予算現額 ①	195,722,000	194,923,000	799,000	0.4	
歳入	調定額 ②	195,803,344	194,945,629	857,715	0.4
	収入済額 ③	195,803,250	194,945,629	857,621	0.4
	不納欠損額 ④	0	0	0	-
	収入未済額 ② - ③ - ④ = ⑤	94	0	94	-
	予算現額に対する 歳入執行率 ③/① = ⑥	100.0	100.0		
	調定に対する収納率 ③/② = ⑦	100.0	100.0		
歳出	支出済額 ⑧	190,239,400	193,166,316	△ 2,926,916	△ 1.5
	翌年度繰越額 ⑨	0	0	0	-
	不用額 ① - ⑧ - ⑨ = ⑩	5,482,600	1,756,684	3,725,916	212.1
	歳出執行率 ⑧/① = ⑪	97.2	99.1		
歳入歳出差引残額 ③ - ⑧ = ⑫	5,563,850	1,779,313	3,784,537	212.7	

## (2) 歳入

### 〔歳入予算の執行状況〕

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	構成比
1 分担金及 び負担金	190,783,000	190,783,000	190,783,000	0	0	97.4
4 財産収入	5,000	5,898	5,898	0	0	0.0
6 繰入金	3,023,000	3,023,166	3,023,166	0	0	1.5
7 繰越金	1,780,000	1,779,313	1,779,313	0	0	0.9
8 諸収入	131,000	211,967	211,873	0	94	0.1
令和2年度 合計 ①	195,722,000	195,803,344	195,803,250	0	94	100.0
令和元年度 合計 ②	194,923,000	194,945,629	194,945,629	0	0	
増減額 ① - ②	799,000	857,715	857,621	0	94	
増減比 (① - ②)/②	0.4	0.4	0.4	-	-	

### 第1款 分担金及び負担金（市町村負担金）

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納 欠損額	収入 未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
令和2年度	190,783,000	190,783,000	190,783,000	0	0	100.0	100.0
令和元年度	183,811,000	183,811,000	183,811,000	0	0	100.0	100.0
増減額	6,972,000	6,972,000	6,972,000	0	0		
増減比	3.8	3.8	3.8	-	-		

収入済額は 190,783,000円 で、令和元年度に比べ 6,972,000円 増加している。

主な要因は、歳入の繰越金と繰入金の減により、事務費負担金で賄うことによる。

#### 第4款 財産収入

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納 欠損額	収入 未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
令和2年度	5,000	5,898	5,898	0	0	118.0	100.0
令和元年度	9,000	9,619	9,619	0	0	106.9	100.0
増減額	△ 4,000	△ 3,721	△ 3,721	0	0		
増減比	△ 44.4	△ 38.7	△ 38.7	-	-		

収入済額は 5,898円で、令和元年度に比べ 3,721円減少している。

主な要因は、財政調整基金の預金利子の減である。

#### 第6款 繰入金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納 欠損額	収入 未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
令和2年度	3,023,000	3,023,166	3,023,166	0	0	100.0	100.0
令和元年度	7,843,000	7,843,715	7,843,715	0	0	100.0	100.0
増減額	△ 4,820,000	△ 4,820,549	△ 4,820,549	0	0		
増減比	△ 61.5	△ 61.5	△ 61.5	-	-		

収入済額は 3,023,166円で、令和元年度に比べ 4,820,549円減少している。

#### 第7款 繰越金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納 欠損額	収入 未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
令和2年度	1,780,000	1,779,313	1,779,313	0	0	100.0	100.0
令和元年度	3,024,000	3,023,166	3,023,166	0	0	100.0	100.0
増減額	△ 1,244,000	△ 1,243,853	△ 1,243,853	0	0		
増減比	△ 41.1	△ 41.1	△ 41.1	-	-		

収入済額は 1,779,313円で、令和元年度に比べ 1,243,853円減少している。

## 第8款 諸収入

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納 欠損額	収入 未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
令和2年度	131,000	211,967	211,873	0	94	161.7	100.0
令和元年度	236,000	258,129	258,129	0	0	109.4	100.0
増減額	△ 105,000	△ 46,162	△ 46,256	0	94		
増減比	△ 44.5	△ 17.9	△ 17.9	-	-		

### 諸収入の項別内訳

(単位：円、%)

諸収入	令和2年度			令和元年度	前年度比較	
	調定額	収入済額	収納率	収入済額	増減額	増減比
1 預金利子	2,547	2,547	100.0	3,642	△ 1,095	△ 30.1
2 雑入	209,420	209,326	100.0	254,487	△ 45,161	△ 17.7
合計	211,967	211,873	100.0	258,129	△ 46,256	△ 17.9

収入済額は 211,873円で、令和元年度に比べ 46,256円減少している。

主な要因は、職員住宅敷金返戻金等の減である。

### (3) 歳出

支出済額は 190,239,400円で、予算現額に対する執行率は 97.2%となっている。

不用額は 5,482,600円で、主なものは総務費 4,277,333円、予備費 1,000,000円であり、令和元年度に比べ 3,725,916円増加している。

#### 〔歳出予算の執行状況〕

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額			翌年度繰越額	不用額
		金 額	執行率	構成比		
1 議会費	1,328,000	1,122,733	84.5	0.6	0	205,267
2 総務費	193,394,000	189,116,667	97.8	99.4	0	4,277,333
4 予備費	1,000,000	0	0.0	0.0	0	1,000,000
令和2年度合計 ①	195,722,000	190,239,400	97.2	100.0	0	5,482,600
令和元年度合計 ②	194,923,000	193,166,316	99.1		0	1,756,684
増減額 ① - ②	799,000	△ 2,926,916			0	3,725,916
増減比 (① - ②)/②	0.4	△ 1.5			-	212.1

#### 第1款 議会費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
令和2年度	1,328,000	1,122,733	0	205,267	84.5
令和元年度	1,441,000	1,368,797	0	72,203	95.0
増減額	△ 113,000	△ 246,064	0	133,064	
増減比	△ 7.8	△ 18.0	-	184.3	

支出済額は 1,122,733円で、令和元年度に比べ 246,064円減少している。

主な要因は、議会開催日数の減少による費用弁償等の減である。

## 第2款 総務費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
令和2年度	193,394,000	189,116,667	0	4,277,333	97.8
令和元年度	192,482,000	191,797,519	0	684,481	99.6
増減額	912,000	△ 2,680,852	0	3,592,852	
増減比	0.5	△ 1.4	-	524.9	

### 総務費の項別内訳

(単位：円、%)

総務費	令和2年度			令和元年度	前年度比較	
	予算現額	支出済額	執行率	支出済額	増減額	増減比
1 総務管理費	193,182,000	188,982,047	97.8	191,610,154	△ 2,628,107	△ 1.4
2 選挙費	24,000	0	0.0	20,000	△ 20,000	△ 100.0
3 監査委員費	188,000	134,620	71.6	167,365	△ 32,745	△ 19.6
合計	193,394,000	189,116,667	97.8	191,797,519	△ 2,680,852	△ 1.4

支出済額は 189,116,667円で、令和元年度に比べ 2,680,852円減少している。

主な要因は、時間外勤務手当の減のほか、財政調整基金積立金の減である。

## 第4款 予備費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
令和2年度	1,000,000	0	0	1,000,000	0.0
令和元年度	1,000,000	0	0	1,000,000	0.0
増減額	0	0	0	0	
増減比	0.0	-	-	0.0	

### 3 後期高齢者医療特別会計

#### (1) 決算の概要

令和2年度の後期高齢者医療特別会計歳入歳出の決算額は、収入済額が 161,928,745,926 円、支出済額が159,312,733,809円で、歳入歳出差引残額は 2,616,012,117円となっている。

予算現額に対する歳入の執行率は 100.3%、歳出の執行率は 98.7%となっている。

(単位：円、%)

区 分		令和2年度	令和元年度	前年度比較	
				増減額	増減比
予算現額 ①		161,363,986,000	161,227,699,000	136,287,000	0.1
歳入	調定額 ②	161,950,252,290	162,338,381,427	△ 388,129,137	△ 0.2
	収入済額 ③	161,928,745,926	162,325,389,344	△ 396,643,418	△ 0.2
	不納欠損額 ④	0	0	0	-
	収入未済額 ② - ③ - ④ = ⑤	21,506,364	12,992,083	8,514,281	65.5
	予算現額に対する 歳入執行率 ③/① = ⑥	100.3	100.7		
	調定に対する収納率 ③/② = ⑦	100.0	100.0		
歳出	支出済額 ⑧	159,312,733,809	158,539,784,356	772,949,453	0.5
	翌年度繰越額 ⑨	0	0	0	-
	不用額 ① - ⑧ - ⑨ = ⑩	2,051,252,191	2,687,914,644	△ 636,662,453	△23.7
	歳出執行率 ⑧/① = ⑪	98.7	98.3		
歳入歳出差引残額 ③ - ⑧ = ⑫		2,616,012,117	3,785,604,988	△ 1,169,592,871	△30.9

## (2) 歳入

## 〔歳入予算の執行状況〕

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	構成比
1 市町村 支出金	26,143,071,000	26,268,272,487	26,268,272,487	0	0	16.2
2 国庫 支出金	57,506,872,000	58,158,674,838	58,158,674,838	0	0	35.9
3 県支出金	13,174,541,000	13,047,725,004	13,047,725,004	0	0	8.1
4 支払基金 交付金	60,594,644,000	60,375,607,391	60,375,607,391	0	0	37.3
5 特別高額 医療費共 同事業交 付金	31,460,000	50,148,819	50,148,819	0	0	0.0
6 財産収入	1,188,000	1,188,744	1,188,744	0	0	0.0
8 繰入金	0	0	0	0	0	0.0
9 繰越金	3,785,605,000	3,785,604,988	3,785,604,988	0	0	2.3
11 諸収入	126,605,000	263,030,019	241,523,655	0	21,506,364	0.1
令和2年度 合計 ①	161,363,986,000	161,950,252,290	161,928,745,926	0	21,506,364	100.0
令和元年度 合計 ②	161,227,699,000	162,338,381,427	162,325,389,344	0	12,992,083	
増減額 ① - ②	136,287,000	△ 388,129,137	△ 396,643,418	0	8,514,281	
増減比 (① - ②)/②	0.1	△ 0.2	△ 0.2	-	65.5	

## 第1款 市町村支出金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納 欠損額	収入 未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
令和2年度	26,143,071,000	26,268,272,487	26,268,272,487	0	0	100.5	100.0
令和元年度	25,965,309,000	26,194,937,184	26,194,937,184	0	0	100.9	100.0
増減額	177,762,000	73,335,303	73,335,303	0	0		
増減比	0.7	0.3	0.3	-	-		

### 市町村支出金の項別内訳

(単位：円、%)

市町村支出金	令和2年度			令和元年度	前年度比較	
	調定額	収入済額	収納率	収入済額	増減額	増減比
1 市町村負担金	26,268,272,487	26,268,272,487	100.0	26,194,937,184	73,335,303	0.3
(1) 事務費負担金	302,348,053	302,348,053	100.0	302,194,956	153,097	0.1
(2) 保険料等負担金	13,458,274,297	13,458,274,297	100.0	13,180,783,807	277,490,490	2.1
(3) 療養給付費負担金	12,507,650,137	12,507,650,137	100.0	12,711,958,421	△ 204,308,284	△ 1.6

収入済額は 26,268,272,487円で、令和元年度に比べ 73,335,303円増加している。

主な要因は、保険料均等割軽減の見直しによる保険料等負担金の増である。

## 第2款 国庫支出金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納 欠損額	収入 未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
令和2年度	57,506,872,000	58,158,674,838	58,158,674,838	0	0	101.1	100.0
令和元年度	55,984,624,000	57,067,791,597	57,067,791,597	0	0	101.9	100.0
増減額	1,522,248,000	1,090,883,241	1,090,883,241	0	0		
増減比	2.7	1.9	1.9	-	-		

国庫支出金の項別内訳

(単位：円、%)

国庫支出金	令和2年度			令和元年度	前年度比較	
	調定額	収入済額	収納率	収入済額	増減額	増減比
1 国庫負担金	40,945,771,435	40,945,771,435	100.0	39,926,315,302	1,019,456,133	2.6
(1) 療養給付費負担金	40,322,135,252	40,322,135,252	100.0	39,351,669,976	970,465,276	2.5
(2) 高額医療費負担金	623,636,183	623,636,183	100.0	574,645,326	48,990,857	8.5
2 国庫補助金	17,212,903,403	17,212,903,403	100.0	17,141,476,295	71,427,108	0.4
(1) 調整交付金	17,002,786,000	17,002,786,000	100.0	16,611,238,000	391,548,000	2.4
(2) 保健事業補助金	43,850,000	43,850,000	100.0	41,958,000	1,892,000	4.5
(3) 総務費補助金	0	0	-	6,384,000	△ 6,384,000	△100.0
(4) 特別高額医療費 共同事業補助金	6,868,939	6,868,939	100.0	6,692,358	176,581	2.6
(5) 後期高齢者医療災 害臨時特例補助金	6,562,000	6,562,000	100.0	2,186,000	4,376,000	200.2
(6) 高齢者医療制度円 滑運営補助金	0	0	-	0	0	-
(7) 高齢者医療制度円 滑運営臨時特例交 付金	152,836,464	152,836,464	100.0	473,017,937	△ 320,181,473	△67.7
合 計	58,158,674,838	58,158,674,838	100.0	57,067,791,597	1,090,883,241	1.9

収入済額は 58,158,674,838円で、令和元年度に比べ 1,090,883,241円増加している。

主な要因は、療養給付費負担金の交付決定額の増である。

調整交付金については、主に保険者インセンティブ（予防・健康づくりや医療費適正化の事業を支援する仕組み）や保険料軽減特例の見直しに係る周知等の取り組みにより、増加している。高齢者医療制度円滑運営臨時特例交付金については、保険料軽減特例の見直しにより、減少している。

### 第3款 県支出金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納 欠損額	収入 未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
令和2年度	13,174,541,000	13,047,725,004	13,047,725,004	0	0	99.0	100.0
令和元年度	13,363,005,000	13,135,298,298	13,135,298,298	0	0	98.3	100.0
増減額	△ 188,464,000	△ 87,573,294	△ 87,573,294	0	0		
増減比	△ 1.4	△ 0.7	△ 0.7	-	-		

#### 県支出金の項別内訳

(単位：円、%)

県支出金	令和2年度			令和元年度	前年度比較	
	調定額	収入済額	収納率	収入済額	増減額	増減比
1 県負担金	12,934,905,004	12,934,905,004	100.0	13,028,117,298	△ 93,212,294	△ 0.7
(1) 療養給付費 負担金	12,296,150,209	12,296,150,209	100.0	12,432,477,000	△ 136,326,791	△ 1.1
(2) 高額医療費 負担金	638,754,795	638,754,795	100.0	595,640,298	43,114,497	7.2
2 県補助金	112,820,000	112,820,000	100.0	107,181,000	5,639,000	5.3
(1) 一部負担金 特例措置支 援事業費補 助金	112,820,000	112,820,000	100.0	107,181,000	5,639,000	5.3
合計	13,047,725,004	13,047,725,004	100.0	13,135,298,298	△ 87,573,294	△ 0.7

収入済額は 13,047,725,004円で、令和元年度に比べ 87,573,294円減少している。

主な要因は、令和2年度療養給付費の減少による療養給付費負担金の減である。

#### 第4款 支払基金交付金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納 欠損額	収入 未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
令和2年度	60,594,644,000	60,375,607,391	60,375,607,391	0	0	99.6	100.0
令和元年度	61,802,278,000	61,735,121,426	61,735,121,426	0	0	99.9	100.0
増減額	△ 1,207,634,000	△ 1,359,514,035	△ 1,359,514,035	0	0		
増減比	△ 2.0	△ 2.2	△ 2.2	-	-		

収入済額は 60,375,607,391円で、令和元年度に比べ 1,359,514,035円減少している。

主な要因は、令和2年度療養給付費の減少による後期高齢者交付金の減である。

#### 第5款 特別高額医療費共同事業交付金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納 欠損額	収入 未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
令和2年度	31,460,000	50,148,819	50,148,819	0	0	159.4	100.0
令和元年度	30,000,000	36,701,999	36,701,999	0	0	122.3	100.0
増減額	1,460,000	13,446,820	13,446,820	0	0		
増減比	4.9	36.6	36.6	-	-		

収入済額は 50,148,819円で、令和元年度に比べ 13,446,820円増加している。

主な要因は、交付金の対象である1件当たり400万円超の高額医療の実績値の増である。

#### 第6款 財産収入

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納 欠損額	収入 未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
令和2年度	1,188,000	1,188,744	1,188,744	0	0	100.1	100.0
令和元年度	1,559,000	1,559,231	1,559,231	0	0	100.0	100.0
増減額	△ 371,000	△ 370,487	△ 370,487	0	0		
増減比	△ 23.8	△ 23.8	△ 23.8	-	-		

収入済額は 1,188,744円で、令和元年度に比べ 370,487円減少している。

主な要因は、後期高齢者医療財政調整基金の運用利子の減である。

## 第8款 繰入金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納 欠損額	収入 未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
令和2年度	0	0	0	0	0	-	-
令和元年度	0	0	0	0	0	0.0	-
増減額	0	0	0	0	0		
増減比	-	-	-	-	-		

後期高齢者医療財政調整基金からの繰入金である。

## 第9款 繰越金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納 欠損額	収入 未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
令和2年度	3,785,605,000	3,785,604,988	3,785,604,988	0	0	100.0	100.0
令和元年度	3,914,080,000	3,914,079,604	3,914,079,604	0	0	100.0	100.0
増減額	△ 128,475,000	△ 128,474,616	△ 128,474,616	0	0		
増減比	△ 3.3	△ 3.3	△ 3.3	-	-		

収入済額は 3,785,604,988 円で、令和元年度に比べ 128,474,616 円減少している。

## 第11款 諸収入

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納 欠損額	収入 未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
令和2年度	126,605,000	263,030,019	241,523,655	0	21,506,364	190.8	91.8
令和元年度	166,844,000	252,892,088	239,900,005	0	12,992,083	143.8	94.9
増減額	△40,239,000	10,137,931	1,623,650	0	8,514,281		
増減比	△ 24.1	4.0	0.7	-	65.5		

### 諸収入の項別内訳

(単位：円、%)

諸収入	令和2年度				令和元年度	前年度比較	
	調定額	収入済額	不納欠損額	収納率	収入済額	増減額	増減比
1 延滞金、 加算金及 び過料	0	0	0	-	0	0	-
2 預金利子	1,971,372	1,971,372	0	100.0	2,924,364	△ 952,992	△ 32.6
3 雑入	261,058,647	239,552,283	0	91.8	236,975,641	2,576,642	1.1
合 計	263,030,019	241,523,655	0	91.8	239,900,005	1,623,650	0.7

収入済額は 241,523,655円、令和元年度に比べ 1,623,650円増加している。

主な要因は、高額療養費等返納金の増である。

収入未済額 21,506,364円は、主に第三者納付金や返納金の未納により生じたものである。

(2) 歳出

支出済額は 159,312,733,809円で、予算現額 161,363,986,000円に対する執行率は98.7%となっている。

不用額は 2,051,252,191円で、主なものは保険給付費 1,815,754,759円、保健事業費 161,286,547円であり、令和元年度に比べ 636,662,453円（23.7%）減少している。

〔歳出予算の執行状況〕

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支 出 済 額			翌年度 繰越額	不用額
		金 額	執行率	構成比		
1 総務費	372,766,000	331,207,944	88.9	0.2	0	41,558,056
2 保険給付費	152,803,886,000	150,988,131,241	98.8	94.8	0	1,815,754,759
3 県財政安定化基金 拠出金	59,585,000	59,584,910	100.0	0.0	0	90
4 特別高額医療費 共同事業拠出金	43,938,000	43,920,610	100.0	0.0	0	17,390
5 保健事業費	565,173,000	403,886,453	71.5	0.3	0	161,286,547
7 基金積立金	4,625,566,000	4,625,564,744	100.0	2.9	0	1,256
8 公債費	604,000	0	0.0	0.0	0	604,000
9 諸支出金	2,882,468,000	2,860,437,907	99.2	1.8	0	22,030,093
10 予備費	10,000,000	0	0.0	0.0	0	10,000,000
令和2年度合計 ①	161,363,986,000	159,312,733,809	98.7	100.0	0	2,051,252,191
令和元年度合計 ②	161,227,699,000	158,539,784,356	98.3		0	2,687,914,644
増減額 ① - ②	136,287,000	772,949,453			0	△ 636,662,453
増減比 (① - ②)/②	0.1	0.5			-	△ 23.7

## 第1款 総務費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
令和2年度	372,766,000	331,207,944	0	41,558,056	88.9
令和元年度	434,961,000	332,783,454	0	102,177,546	76.5
増減額	△ 62,195,000	△ 1,575,510	0	△60,619,490	
増減比	△ 14.3	△ 0.5	-	△ 59.3	

### 総務費の項別内訳

(単位：円、%)

総務費	令和2年度			令和元年度	前年度比較	
	予算現額	支出済額	執行率	支出済額	増減額	増減比
1 総務管理費	372,210,000	330,745,584	88.9	332,421,224	△ 1,675,640	△ 0.5
2 賦課徴収費	556,000	462,360	83.2	362,230	100,130	27.6
合計	372,766,000	331,207,944	88.9	332,783,454	△ 1,575,510	△ 0.5

支出済額は 331,207,944円で、令和元年度に比べ 1,575,510円減少している。

## 第2款 保険給付費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
令和2年度	152,803,886,000	150,988,131,241	0	1,815,754,759	98.8
令和元年度	157,564,750,000	155,071,654,802	0	2,493,095,198	98.4
増減額	△ 4,760,864,000	△ 4,083,523,561	0	△ 677,340,439	
増減比	△ 3.0	△ 2.6	-	△ 27.2	

### 保険給付費の項別内訳

(単位：円、%)

保険給付費	令和2年度			令和元年度	前年度比較	
	予算現額	支出済額	執行率	支出済額	増減額	増減比
1 療養諸費	147,040,747,000	145,294,817,575	98.8	149,447,972,510	△4,153,154,935	△ 2.8
2 高額療養諸費	5,349,539,000	5,296,683,666	99.0	5,221,442,292	75,241,374	1.4
3 その他医療給付費	413,600,000	396,630,000	95.9	402,240,000	△ 5,610,000	△ 1.4
合計	152,803,886,000	150,988,131,241	98.8	155,071,654,802	△4,083,523,561	△ 2.6

支出済額は 150,988,131,241円で、令和元年度に比べ 4,083,523,561円減少している。

主な要因は、新型コロナウイルス感染症による受診抑制が生じたことによる療養給付費の減と想定される。

## 第3款 県財政安定化基金拠出金

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
令和2年度	59,585,000	59,584,910	0	90	100.0
令和元年度	61,978,000	61,977,526	0	474	100.0
増減額	△ 2,393,000	△ 2,392,616	0	△ 384	
増減比	△ 3.9	△ 3.9	-	△ 81.0	

支出済額は、59,584,910円で、令和元年度に比べ 2,392,616円減少している。

#### 第4款 特別高額医療費共同事業拠出金

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
令和2年度	43,938,000	43,920,610	0	17,390	100.0
令和元年度	38,183,000	33,510,588	0	4,672,412	87.8
増減額	5,755,000	10,410,022	0	△ 4,655,022	
増減比	15.1	31.1	-	△ 99.6	

支出済額は 43,920,610円 で、令和元年度に比べ 10,410,022円 増加している。

主な要因は、国民健康保険中央会への拠出金の算定基礎となる1件当たり400万円超の高額医療費の額が全国的に増加したことによる事業拠出金の増である。

#### 第5款 保健事業費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
令和2年度	565,173,000	403,886,453	0	161,286,547	71.5
令和元年度	442,991,000	385,520,440	0	57,470,560	87.0
増減額	122,182,000	18,366,013	0	103,815,987	
増減比	27.6	4.8	-	180.6	

支出済額は 403,886,453円 で、令和元年度に比べ 18,366,013円 増加している。

主な要因は、令和2年度から開始した高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業委託料の増である。

不用額は、見込まれていた健康診査受診者数よりも実績が少なかったことと、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業委託が契約に至った市町村が見込より少なかったことによるもの。

## 第7款 基金積立金

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
令和2年度	4,625,566,000	4,625,564,744	0	1,256	100.0
令和元年度	67,527,000	67,525,556	0	1,444	100.0
増減額	4,558,039,000	4,558,039,188	0	△ 188	
増減比	6,750.0	6,750.1	-	△ 13.0	

支出済額は4,625,564,744円で、令和元年度に比べ4,558,039,188円増加している。前年度繰越金の一部を基金の積立金としているもの。

## 第8款 公債費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
令和2年度	604,000	0	0	604,000	0.0
令和元年度	607,000	109,153	0	497,847	18.0
増減額	△ 3,000	△ 109,153	0	106,153	
増減比	△ 0.5	△ 100.0	-	21.3	

資金不足の際の一時借入金に係る支払利子を予算計上したものであるが、一時借入する必要がなかったことにより不執行となっている。

## 第9款 諸支出金

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
令和2年度	2,882,468,000	2,860,437,907	0	22,030,093	99.2
令和元年度	2,606,702,000	2,586,702,837	0	19,999,163	99.2
増減額	275,766,000	273,735,070	0	2,030,930	
増減比	10.6	10.6	-	10.2	

支出済額は2,860,437,907円で、令和元年度に比べ273,735,070円増加している。

主な要因は、市町村療養給付費負担金返還金の増と、療養給付費国庫負担金返還金の増である。

第10款 予備費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
令和2年度	10,000,000	0	0	10,000,000	0.0
令和元年度	10,000,000	0	0	10,000,000	0.0
増減額	0	0	0	0	
増減比	0.0	-	-	0.0	

## 4 財産

### (1) 物品

重要物品（取得価格が50万円以上のもの）の状況は、次のとおりである。

（単位：件）

区 分	令和元年度末現在高	令和2年度中増減	令和2年度末現在高
各種自動車類	0	0	0
各種機械類等	1	0	1
合 計	1	0	1

### (2) 基金

特定の目的のために財産を維持し、積み立てられた基金（定額の資金を運用する基金を除く。）の状況は、次のとおりである。

#### ア 財政調整基金

（単位：円）

区 分	令和元年度末現在高	令和2年度中増減	令和2年度末現在高
現 金	21,483,225	△ 1,237,955	20,245,270
債 権	0	0	0

基金の額は、令和元年度末現在高 21,483,225円から 1,237,955円減少し、20,245,270円となっている。

#### イ 後期高齢者医療財政調整基金

（単位：円）

区 分	令和元年度末現在高	令和2年度中増減	令和2年度末現在高
現 金	4,329,409,362	4,625,564,744	8,954,974,106
債 権	0	0	0

基金の額は、令和元年度末現在高 4,329,409,362円から 4,625,564,744円増加し、8,954,974,106円となっている。

## 第6 審査意見

令和2年度岩手県後期高齢者医療広域連合一般会計及び後期高齢者医療特別会計における決算審査の状況については、以上のとおりである。

広域連合事務局が執行している事務事業は、法令等に基づき、概ね適正に処理されているものと認められ、また、歳入歳出予算の執行についても、概ね適正であると認められる。

今後も、被保険者数の増加や医療費の増大が見込まれる中で、医療保険制度の安定的な運営と健全な財政運営を確保するため、収入及び支出の見通しを適確に把握するとともに、保険料収納率の向上や収入未済額の縮減による歳入確保に努めるほか、適正受診の促進や保健事業計画に基づく効果的な保健事業の推進により医療費の適正化を図るなど、市町村や関係機関と十分な連携を図りながら、一層の効率的で効果的な事業の推進に努めるよう望むものである。